

令和5年度 宮城県ネクストリーダー養成塾 実施報告書



宿泊研修実施日程：令和5年8月4日(金)～6日(日)

オンライン研修実施期間：令和5年8月18日(金)～9月18日(月)

主催：宮城県環境生活部共同参画社会推進課

運営受託／企画運営：一般財団法人まちと人と

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県商工会議所連合会、
宮城県PTA連合会、仙台市PTA協議会、青少年のための宮城県民会議、
河北新報社



事業概要

ネクストリーダー養成塾は、宮城県内の中学生を対象に知事や様々な分野で活躍されている方々の講話、同世代の仲間たちとのワークショップや意見発表を通して、考える力やリーダーシップ力を養い、これからの宮城を支える次代のリーダーの育成を目的に開催するものです。

今年度は、講話やほかのメンバーとの交流、対話による触発を経て、自分の具体的な理想のリーダー像を作り、それに向けてファーストアクションを起こすことを目的に実施しました。参加者のサポーターとして県内出身の大学生や社会人、過去にネクストリーダー養成塾に参加したOBOGの高校生が参加しました。

実施概要

□ 宿泊研修

- ・実施日程：令和5年8月4日(金)～6日(日)
- ・会場：宮城県庁・東北自治総合研修センター(富谷市)
- ・参加者：宮城県内の中学生 36名



□ オンライン研修

- ・実施期間：令和5年8月18日(金)～9月18日(月)
- ・方法：YouTubeでのレクチャー動画とゲスト講師による講話の視聴、送付したワークシートの記入
- ・参加者：宮城県内の中学生 11名

宿泊研修

1
日
目

開講式

開講式は宮城県庁で実施しました。はじめにこの3日間の目的やグラドルールである安心安全な場づくりについて共有した後、一緒に過ごす仲間と自己紹介を含めたアイスブレイクを行い、緊張をほぐしました。



知事オープニングトーク

村井知事の考える理想のリーダー像について、知事になる以前に通っていた松下政経塾でのエピソードを交え、自分の意見を持ちながらも、立場が異なる人や対立している人の意見も一旦聞き、受け入れることができるということがリーダーとして重要な素質であるとお話いただきました。



自分を知る「一問一答ワーク」

場所を東北自治総合研修センターに移し、最初に参加者全員で輪になって自己紹介をしました。夜はグループに分かれ、インタビュー形式で自分自身を見つめ直すワークを実施しました。自分の経験や客観的事実、出来事、自分の未来に関する質問をメンバー同士で投げかけあい、他者との違いを通して自分とは何かを振り返りました。



講師講話からリーダーシップを学ぶ

2日目は4名の講師からお話をいただきました。講話後には気づきや問いをグループのメンバーと共有し、講話の振り返りを行いました。講師の方々の生い立ちやターニングポイント、挑戦していることなどを聞き、自分の理想のリーダー像へのヒントを得ました。

→参照:P4 ゲスト講師による講話について



「叶えたい未来」と「理想のリーダー像」を考える

講話や他のメンバーとの対話を経て、自分の理想像を考えるワークを行いました。自分が大切にしたい軸から理想の未来を想像し、それを実現するための具体的なリーダー像を設定しました。最後は設定したリーダー像になるための最初の一步を考えました。

発表会準備・発表会

3日目は、発表に向けて自分の理想の未来やリーダー像、アクションなどを一枚絵にまとめました。

発表会では、グループ内で発表練習をした後、今までのグループとは違うメンバーに対して一人ずつ発表しました。

発表者にはそれぞれ感想や応援メッセージが伝えられました。

→参照:P5 みんなの理想のリーダー像



閉講式

閉講式では代表者2名に修了証書が授与され、代表者は研修での自身の成長や、これから挑戦することなどを述べました。

その後、サポーターから一人ずつ修了証書と手紙が授与されました。

新しい経験の連続となった3日間を終え、参加者からは、達成感とともにこれからの活動に向けて自信を持った様子を感じられました。



フォロー研修・個別相談(オンライン)

宿泊研修終了後も活動の相談ができるよう、参加希望者を対象に対面で2回のフォロー研修を実施しました。

フォロー研修ではOBOG中高生団体主催の募金活動にも参加しました。

□フォロー研修①参加者:12人

□フォロー研修②参加者:8人



2
日
目

3
日
目

フ
ォ
ー
リ
ン
グ

ゲスト講師による講話について

宮城県に縁があり、各方面で活躍している4名に自分自身の生い立ちや挑戦してきたことについてお話をいただきました。宿泊研修参加者はゲストから直接お話を聞き、オンライン研修参加者はその様子をアーカイブ動画で視聴しました。



岩田 華怜氏
俳優・みやぎ絆大使

岩田華怜氏からは、東日本大震災が大きな転機となりアイドルに挑戦し、震災復興のために積極的に活動していたお話や、俳優という夢をあきらめきれずにいたアイドル時代の自身の葛藤をふまえたお話をいただきました。俳優という職業をさらに突き詰めるために、今ある仕事をやめ、アメリカ留学にわたるといお話の中で、自分を信じ、あきらめないで物事をやり遂げるとい岩田さんの言葉が印象的でした。



遠藤 憲子氏
仙台青葉学院短期大学
ビジネスキャリア学科教授

遠藤憲子氏からは、公務員として東北の街づくりに貢献された話や、公務員として働きながら博士号を取得した経験談をもとに、何事も挑戦しないことができるかはわからないというお話をいただきました。また、目標を小分けにすることや多角的な視点から挑戦することについてお話いただきました。



佐藤 雅俊氏
ヤグチ電子工業株式会社
取締役代表社長

佐藤雅俊氏からは、放射能濃度を測定するスマートフォンのソフト開発とそのソフトの非営利化と技術開示により倒産の危機から会社を復興させた貴重なお話をいただきました。インドやウガンダに自ら訪れ、現地の人々のニーズをつかんでモノづくりをするという行動力のあるお話も印象的でした。

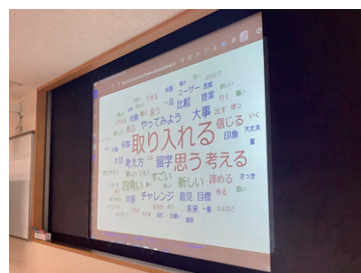


渡辺 一馬氏
一般社団法人ワカツク
代表理事

渡辺一馬氏からは、「子供が笑って生きられる未来を作りたい」という夢に向かって歩んだ人生についてワークショップ形式でお話いただきました。学生時代に校則を変えた話や、サークルのルールを一から作成した話の中で「ルールは守るものでなく、作るもの」とい言葉が印象的でした。



講話後には気づきや問いをグループのメンバーと共有し、講話の振り返りを行いました。



振り返りで出た参加者の言葉はテキストマイニング※で可視化しました。

※テキストマイニングとは
指定したテキストを頻出度や重要度の高い順に可視化する分析方法

みんなの理想のリーダー像

A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



E グループ



F グループ



理想のリーダー増を考えるステップ

一問一答ワークで今の「自分を知る」



「叶えたい未来」と「理想のリーダー像」を考える



理想像とアクションを発表する

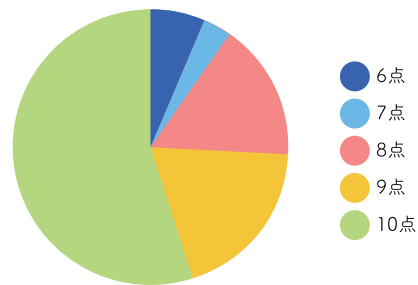


アンケート結果

研修全体の満足度

宿泊研修参加者のプログラム満足度は10段階評価で平均9.06という結果となりました。

満足度の理由として、「サポーターの充実度」や「仲間との交流が楽しかった」という宿泊研修ならではの声が多く挙がりました。また、講師による講話や自分の理想像を考えるワークを通して「将来に対する考え方が変わった」という声や「発表で自分の成長を感じた」という声など、研修前後の心の変化も理由に挙がりました。

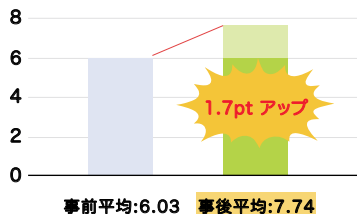


回答者:31名 満足度平均値:9.06

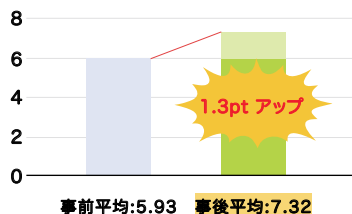
参加者の意識の変化

リーダーとなるために必要な力や自分の能力がプログラムを通してどのように変化したのか、参加者に事前・事後アンケートを実施することで調べました。

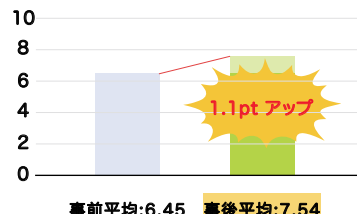
Q 自分はリーダーとして必要なことが何か知っている



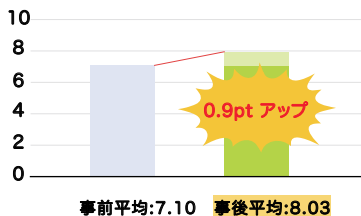
Q これからの未来で自分がリーダーシップを持っている姿をイメージできている



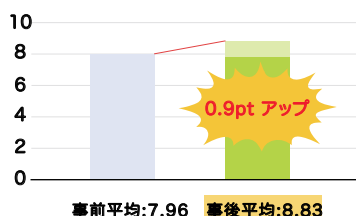
Q 自分が他者を巻き込み、協力者と共に何かを達成していくイメージを持っている



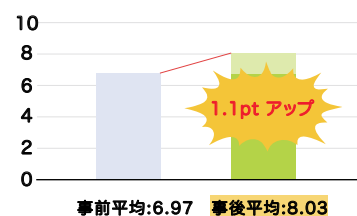
Q これからの自分の人生を主体的に生きていけると思う



Q 今、本気になって取り組んでいると言えるものがある



Q 自分の思いや考えを相手にしっかりと伝えることができると思う



参加者の声

いろいろな仲間と共に意見を共有でき、とてもいい機会になった。様々な講師の方に講話を行っていただき、学びが多くあった。これからの人生において、重要になってくると思う言葉に沢山出会うことができ、とても嬉しかった！仲間と共にミーティングや、意見交流を通して仲良くなれることができ、本当に最高の思い出ができた！

ネクストリーダー養成塾は、学校とは違って、自分の意見を素直に言いやすい、不思議な2泊3日だと思っていて、それによって未来について一生懸命考えて、希望を膨らまして、実現へ向かっている中学生は沢山いるはず。また、私にとってネクストリーダー養成塾は学校以外の自分の本当の学びの居場所です。2年生のあの時に申し込んでいなかったら人生は大きく進歩しなかったと思います。

講演をしてくださった講師の皆さんの話では、挑戦をする姿勢や努力の大切さを学ばせていただいて発表に活かすことができた。自己紹介の場が多く相手の人をよく知ることが去年と違って多く、楽しかった。来年は三年生となるが今回決めた目標を達成でき、より一層理想のリーダーに近づいた状態で参加できるようにしたい。

ネクストリーダー養成塾のおかげで、将来なりたい中学校の先生という目標がより具体化され、やりたいことも見つかりました。中学生にとって大きく成長できる場であり、なにより楽しく学べる。そんな場所だと思います。

オンライン研修

宿泊研修への参加が難しい宮城県内の中学生に向けて、オンライン研修を実施しました。

宿泊研修と同様に「叶えたい未来」と「理想のリーダー像」を考えるための研修を実施しました。

STEP1:自分を知る「一問一答ワーク」

オンライン研修全体のガイダンスや、ワークをする時に参加者に心がけてほしいことを説明しました。また、導入のワークとして、今の自分を見つめ直す「一問一答ワーク」を行いました。

STEP2:ゲスト講師講話を聴く

宿泊研修でお話しいただいた4名の講師の講話を動画で視聴し、STEP3で自分の理想像を考えるための参考にしました。

STEP3:叶えたい未来と理想のリーダー像を考える

STEP1とSTEP2を踏まえて、自分が大切にしたい軸を見つけ、叶えたい未来を考えました。その後には、理想のリーダー像とアクション計画を立てました。

研修の修了について

研修終了後に回答するWEBアンケートの送信をもってオンライン研修は修了となりました。



研修の実施者について

本研修は宮城県環境生活部共同参画社会推進課が主催し、運営受託団体である一般財団法人まちと人とが企画・運営を担いました。宿泊研修においては、宮城県在住・出身の若者を中心とした「サポーター」も参加し、中学生と3日間を共にしました。また、今年度はより多様な人が関わる環境をつくることを目的に、ネクストリーダー養成塾OB・OGの高校生も「サポーター」として参加しました。



企画・運営

一般財団法人まちと人と
斉藤 誠太郎/野内 杏花里/伊藤 千央

撮影

千葉 悠介

大人サポーター

伊豆田 花/大橋 珠麗/齋藤 真里奈/佐々木 陽音/
佐藤 龍汰/武田 真由子/渡邊 佑

高校生サポーター ※

伊勢 智大/児玉 瑚子/坂上 莉央/瀬川 陽暉/
千葉 玲央菜/二瓶 亮太/平吹 南/前川 里桜

※ 過去ネクストリーダー養成塾参加者である、OB・OG高校生もサポーターとして参加しました。高校生がいることで中学生にとって歳の近い相談相手ができると共に研修参加者が終了後も関わり続ける場を作ることができました。

令和6年度も宮城県ネクストリーダー養成塾の開講を予定しております。ぜひご参加ください。



ネクストリーダー養成塾

お問い合わせ先：宮城県環境生活部共同参画社会推進課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL:022-211-2577/FAX:022-211-2392/MAIL:seisyo9@pref.miyagi.lg.jp

発行日：令和6年1月